

公共事業再評価調書（農林水産部）

|      |       |                     |                      |    |                |
|------|-------|---------------------|----------------------|----|----------------|
| 部課室名 | 漁 港 課 | 記入責任者職氏名<br>(担当者氏名) | 課 長 高崎 伸彦<br>(菅野 晴行) | 内線 | 4172<br>(4179) |
|------|-------|---------------------|----------------------|----|----------------|

|      |        |        |      |       |  |
|------|--------|--------|------|-------|--|
| 事業種目 | 漁港漁村事業 | 事業名    | 事業区間 | 総事業費  |  |
|      |        | 漁港修築事業 | 諸寄漁港 | 約37億円 |  |

|          |       |      |       |             |
|----------|-------|------|-------|-------------|
| 所在地      | 事業採択年 | 着工年度 | 完成予定年 | 進捗率         |
| 美方郡浜坂町諸寄 | H6年度  | H6年度 | H17年度 | H12末<br>68% |

|  |   |
|--|---|
| 事業の目的  | 事業内容  |
| 当漁港では、日本海で展開される沖合漁業が基幹漁業である。本事業により外郭施設及び不足している泊地等の基本施設整備を行い、港内における船舶の輻輳を緩和するとともに、静穏性を向上させる等、漁業活動の円滑化及び安全性の向上を図る。 | 防波堤 480m<br>泊地浚渫 4,100m <sup>2</sup><br>防波堤撤去 84m<br>船揚場 20m<br>道路 150m |

|      |  |
|------|--|
| 進捗状況 | 本計画においては、沖防波堤の延伸及び改良、外防波堤といった基本の外郭施設の整備を進めている。平成12年度末までに沖防波堤は概成し、現在上部工及び消波工の整備を進めている。また、泊地を形成する外防波堤については、延伸する整備を進めており、引き続き泊地浚渫に着手する。 |
|------|--|

|      |         |
|------|---------|
| 評価視点 | 評価結果の説明 |
|------|---------|

|                |  |
|----------------|--|
| (1)必要性         | 当漁港は、現在東防波堤と北防波堤で囲われた水域しか静穏な泊地がなく、休漁時等には全ての漁船がこの泊地を利用するため非常に混雑した状況にある。さらに、大型の沖合底曳船については港内の狭隘な泊地に錨泊せざるを得ないことから、出漁準備や帰港後の作業性が悪く、漁業活動に支障をきたしている。<br>本計画では、第9次漁港整備長期計画に引き続き、外防波堤と北防波堤に囲まれる水域を大型の沖合底曳船にも対応した泊地として整備を行い、外防波堤については、泊地内の静穏度を確保するとともに係留機能を持たせ、係留場所の確保及び安全性の確保を図る。 |
| (2)有効性・効率性・有効性 | 外防波堤及び泊地整備による港内の静穏水域の拡大から、港内の混雑が解消され、出入港時における操船が容易になり、大型の沖合底曳船については外防波堤に直接係留することが可能となることから、漁業活動の効率化及び安全性の向上が図られる。<br>B/Cは1.10である。  |
| (3)環境適合性       | 外防波堤に囲まれる泊地に連絡する臨港道路の基部陸域が自然公園地域に指定されていることから、環境負荷をできるだけ生じさせないよう棧橋構造などの施設構造や配置、景観に配慮する。   |
| (4)優先性         | 大型の沖合底曳船については、狭隘な泊地に錨泊をしており、円滑な漁業活動に支障をきたしていることから、静穏な水域に安全に係船できる泊地を早期に整備する必要がある。   |

農林水産部の考え方

|        |    |      |                  |
|--------|----|------|------------------|
| 再評価の結果 | 継続 | 左の理由 | 上記理由により継続が妥当である。 |
|--------|----|------|------------------|